聖籠町ひとり親家庭等の医療費助成に関する条例施行規則の一部を 改正する規則をここに公布する。

平成31年3月26日

聖籠町長 西 脇 道 夫

聖籠町規則第12号

聖籠町ひとり親家庭等の医療費助成に関する条例施行規則の一部を改正する規則

聖籠町ひとり親家庭等の医療費助成に関する条例施行規則平成3年 聖籠町規則第1号)の一部を次のように改正する。

第8条中「別記様式第6号の3」を「別記様式第6号の2」に改め 、同条ただし書を次のように改める。

ただし、町長と協定等を締結している柔道整復師、はり師、きゅう師及びあん摩マッサージ指圧師(以下「施術者等」という。)の施術を受け、当該施術者等にひとり親家庭医療費の助成金の受領を委任する場合は、医療費助成申請書に代えて、県単医療費助成申請書(別記様式第6号の3又は別記様式第6号の4)を提出するものとする。

別記様式第6号の2を次のように改める。

別記様式第6号の2(第8条関係)

(表)

県親医療費助成申請書(入院時生活療養費用)

年 月 日

聖籠町長 様

申請者 住 所 氏 名

印

下記のとおり、医療費の助成を申請します。

	the state of the s	
受給者番号		保険者名
受給者氏名		記号・番号
文和有以名		被保険者氏名
受 医療機関名		受 診 年 月 年 月
振込指定		古
金融機関	金庫・農協 出張	口座名義人

- 注 1 署名をもって記名押印に代えることができます。
 - 2 本紙は受診した月ごとに1枚必要です。
 - 3 " 医療機関ごとに1枚必要です。

町確認欄(県親助成額単価×食事回数)

県親助成決定額 円

(年 月診療分)

所得区分等	標準負担額	食事回数(回)	金額
適用区分オ・低所得者Ⅱ	210円/食		
低所得者 I	130円/食		
低所得者 I (老齢福祉年金受 給者)・境界層該当者	100円/食		
入院医療の必要性の高い者	210円·160円·100円/食		

様(受給者氏名)

上記の食事回数分の入院時生活療養費一部負担金を領収しました。

年月日.

所在地

医療機関等 名 称

印

FF-

- ※ 「入院医療の必要性の高い者」とは医療区分2又は3等の患者で入院時食事療養費標準負担額と同額の負担となる者です。該当する単価に「○」をつけてください。
- ※ 所得区分等(例:低所得II)及び所得区分等に応じた食事回数等が明記されており、上記表の内容が確認できる領収書及び明細書を添付することで、医療機関等における記入を省略することができます。

(裏)

注意事項

- 1 助成申請額の計算方法
 - (1) 入院時の生活療養に係る標準負担額については、保険者等から減額認定証の交付を 受けている方が助成対象になります。
 - (2) 申請額は入院時生活療養費標準負担額のうち、入院時食事療養標準負担額と同額 (食材料費相当分)の金額となります。

入院時生活療養費標準負担額(食材料費相当額)

低所得者Ⅱ

160円/食

低所得者 I

100円/食

低所得者 I (老齢福祉年金受給者)

100円/食

境界層該当者

100円/食

低所得者Ⅱ

ただし、入院医療の必要性の高い者については 210円/食

低所得者Ⅱ(90日を超える場合)

160円/食

低所得者 I

100円/食

境界層該当者

100円/食

2 不明な点は、町の担当窓口におたずねください。

別記様式第6号の2を別記様式第6号の3とする。

別記様式第6号の3を次のように改める。

制度	種	Bit					· ·	県親	···	Γ	県子				
刊 及	但	別	界石	IE W E		、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	= + /		+/- 44:		<u></u> 泉宁				
				界里的	医療費助	〕 放 甲 請	看 (采り	1 登 復	虺 ਆ	/H)		年	. ,	FI T	日
聖籠町县	旻	7	策		-							·			•
									h ⇒± -b	住	所				
	,								申請者	氏	名				印
															- 1
下記の と			額の受領に関		診療月 権限を下記		月ク 委任しま		療費	の助成	を申請	しまっ	す。		
									H	さ理人 自	所				
								,	代	建人氏	名				印
受給者	証番	号.					保修	食 者	名	<u> </u>					
受 給 者								・番	号						
受療者	氏	名		-		· ·	被保	険者氏	5名						
自己負	担 割	合	3割		2割		1割		_						
	415 -4	. 銀	行名				П	座 番	号						
版 込 : 金融機	指 定 関 タ	-					 ¬	リガ	- 1						
							1 .								
		文	店名				口屋	区名章	人						
E1 ※印相 E2 助成日	去 負 欄は記 申請額の	担物人したの算品	1			負担金	口屋	区名家	多人	決	額			-	
E1 ※印相 E2 助成目	去 負 欄は記 申請額の	担物人したの算品	ないこと。	ができ	ます。	負担金	額		人	(柔道	整復師	iが記,	入して	こくだ	さい
E1 ※印相 E2 助成目	去負 欄は記』 申請額の に代え	A D I N	はいこと。 出方法等裏面署すること	ができ	ます。		額(診療)	·····································	年	(柔道	整復師		٠		
E1 ※印机 E2 助成印 可記名押印	去負 欄は記』 申請額の に代え	A D I N	ないこと。 出方法等裏面 署すること . 領 した費用 #	ができ	ます。	額 B	額(診療)	·····································	年	(柔道	整復師 1分) C 県単		٠		В-
E1 ※印相E2 助成时间记名押印	去負 欄は記』 申請額の に代え	A D I N	は はいこと。 出方法等裏面 署すること 領 した費用 月	ができ	ます。	額 B 円	額(診療)	·····································	年	(柔道 済額 円	整復師日分)		٠		В-
E1 ※印相 E2 助成目 D記名押印 L日目 2日目	去負 欄は記』 申請額の に代え	A D I N	はいこと。 出方法等裏は 署すること 領 した費用 月	ができ	ます。	額 B 円 円	額(診療)	·····································	年	(柔道) 済額 円	整復師日分)		٠		В-
E1 ※印相 E2 助成目 D記名押印 L日目 2日目 3日目	去負 欄は記』 申請額の に代え	A D I N	は はいこと。 出方法等裏面 署すること 領 した費用 月	ができ	ます。	額 B 円	額(診療)	·····································	年	(柔道 済額 円	整復師日分)		٠		В-
E1 ※印相 E2 助成目 D記名押印 L日目 2日目 3日目 4日目	去負 欄は記』 申請額の に代え	A D I N	はいこと。 出方法等裏は 署すること 領 した費用 月 円	ができ	ます。	額 B 円 円 円	額(診療)	·····································	年	(柔道) 済額 円 円	整復師日分)		٠		В-
E1 ※印相 E2 助成目 D記名押印 L日目 2日目 3日目 4日目	去 負 環は記がます 関 は に代え 療養	X	はいこと。 出方法等裏は 署すること 領 した費用 月 円 円	ができ	ます。 書	額 B 円 円 円 円	(診療, 県単一部	月 金	年	(柔道 <u>)</u> 済額 円円	整復師日分) C 県単		٠		В-
E1 ※印相 E2 助成目 D記名押印 D記名押印 BB日 BB日 BB日 BB日 BB日 BB日 BB日 BB日 BB日 BB	去 負 端は記 計額 (担 入のて に 者の	はいこと。 出方法等裏面 署すること 領 した費用 月 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円	ができ 収 自	ます。書 こ負担	額 B 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円	額(診療)	月 金	年	(柔道 <u>)</u> 済額 円円	整復師日分) C 県単		٠		В-
E1 ※印相 E2 助成目 可記名押印 1日目 2日目 3日目 4日目 5日目以降	去 負 は記れる は は は は は は 記れる は は は 記れる は ま は は な は な な な な な は は な な な な な な な	担 入 の て に	はいこと。 出方法等裏は 署すること 領 した費用 月 円 円	ができ 収 自	ます。書 こ負担	額 B 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円	(診療, 県単一部	月 3負担金	年金領収	(柔道) 済額 円 円 円	整復師日分)		٠		
E1 ※印材E2 助成印 BE2 BEE BEE BEE BEE BEE BEE BEE BEE BEE	去 負 は記れる は は は は は は れ は れ え な は ま は れ え な な な な な は に な な な な な な な な な な な な な	担 入 の て に 水 の る そ で	はいこと。 出方法等裏配 関した費用 月 円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円	ができ 収 自 ご び社会 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ます。書とります。生活を総・	額 B 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円	(診療, 県単一部	月 3負担金	年金領収	(柔道) 済額 円 円 円	整復師日分)		٠		В-
E1 ※印相 E2 助成印 D記名押印 1日目 3日目 3日目 4日目 3日目 4日目 3日目 4日目 4日目 4日目 4日目 4日目 4日日 4日日 4日日 4日日 4	去 負 は記れる は は は は は は れ は れ え な は ま は れ え な な な な な は に な な な な な な な な な な な な な	担 入 の て に 水 の る そ で	はいこと。 出方法等裏は と 間 した費用 月 円円円円円円円円円の 日常生の他(一部負担金を	ができ 収 自 ご び社会 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ます。書とります。生活を総・	額 B 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円	(診療, 県単一部	月 3負担金	年金領収	(柔道) 済額 下 下 下 下 大 大	整復師日分)		٠		В-
E1 ※印相 E2 助成印 D記名押印 1日目 3日目 3日目 4日目 3日目 4日目 3日目 4日目 4日目 4日目 4日目 4日目 4日日 4日日 4日日 4日日 4	去 負 は記額は 京義 に	担 入のて に 要 a す・ i a す・ i e e e e e e e e e	はいこと。 出方法等裏は と 間 した費用 月 円円円円円円円円円の 日常生の他(一部負担金を	ができ 収 自 ご び社会 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ます。書とります。生活を総・	額 B 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円	(診療, 県単一部	月 3負担金	年 額収 事 (公	(柔道) 済額 下円円 円円用 サ サ 分)	整復師日分)		٠		В-

1 助成申請額の計算方法

対象者の療養に要した費用から保険給付額、他法負担額及び次の一部負担金を控除した額が申請額となります。

<県老の場合>

○ 療養に要した費用の2割(経過措置対象者は1割)

<県障・県親・県子の場合>

○ 1日につき 円(同一施術所については月4日までとし、かつその際の自己負担額 が 円に満たないときは当該額)

ただし、0歳から満18歳に達した日の属する最初の年度末までの期間は、月の初日の み。

2 不明な点は、町の担当窓口へおたずねください。

別記様式第6号の3を別記様式第6号の2とする。

別記様式第6号の3の次に次の様式を加える。

制度	種	別	11	県老						如			県子		Т		
削 及					由 电电			 7			2.胶				王) 王)		
				19) IV	十 ¹ 百月 ⁻	首 (口 は	у L	7 C M	<i>γ</i> .	U 0/)	/U /#	* · · · · ·	y		年	月	日
聖籠町長	t .	;	镁									住	所				
								ų.		申	請者		_				122
												氏	名				印
下記のと 上記の医			類の受命	ゴル 関・		診療月 部限を下記					寮費·	の助成	を申	請しま	きす。		
工品*>区		- 9311X1	吸い又は	AI CIN	7 °O TH	-PAC 1 H	0.24	- 女正 C	, , ,	0							
												理人(理人)					印
受給者言	年 来	是				-		保	険	者	名						(2.12
受給者									号・								
受療者		-						被任	呆険.	者氏	名						
自己負担	担割	合	3:	割		2割		. 1	割								
		- GI	· 行名				L		座	番	号						
振 込 指	台行	는 씨	11 41							عد	1-						
		7.		+				フ	リ	71	アー						
金融機	関イ	支	店名						・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・						•		
金融機 ※ 他法 注1 ※印欄 注2 助成申 ②記名押印	関 名 食 は記 請額	担ね	頁 ないこと 出方法等	裏面			負担金					決	定名	Į			
金融機 ※ 他法 注1 ※印欄 注2 助成申	関 名 食 は記 請額	担ね	頁 ないこと 出方法等 署する	・ 裏面 ことか	*でき	ます。	負担金	: 額	座名		人	-	(施術	者が言	記入し	てくだ	さい
金融機 ※ 他法 注1 ※印欄 注2 助成申	関うは諸額に代え	支担を表した。	質 ないこと 出方法等 署する 領	亭裏面 ことか	でき: 	ます。		復	摩月	名義	人		(施術	者が言			
金融機 ※ 他法 1 ※印欄 注2 助成申 ②記名押印	関うは諸額に代え	支担を表した。	質 ないこと 出方法等 署する 領	亭裏面 ことか	でき: 	ます。		復	摩月	名義	人	済額	(施術	者が言			i В-
金融機 ※ 他法 主1 ※印欄 主2 助成申 ②記名押印 1日目 2日目	関うは諸額に代え	支担を表した。	質 ないこと 出方法等 署する 領	影裏面 ことか 用 A 円	でき: 	ます。	額 B 円 円	復	摩月	名義	人	済額	(施術 月分) C 県 円	者が言			В-
金融機 ※ 他法 主1 ※印欄 主2 助成申 ②記名押印 1日目 2日目 3日目	関うは諸額に代え	支担を表した。	質 ないこと 出方法等 署する 領	事裏面。 ことか 用 A 円 円	でき: 	ます。	額 B 円 円	復	摩月	名義	人	済額 [(施術 月分) C	者が言			В-
金融機 ※ 他法 主1 ※印欄 主2 助成申 ②記名押印 1日目 2日目 3日目 4日目	関うは諸額に代え	支担を表した。	質 ないこと 出方法等 署する 領	事。 ことか 用 A 円 円 円	でき: 	ます。	額 B 円 円 円	復	摩月	名義	人	済額 [(施術 月分) C	者が言			B-
金融機 ※ 他法 主1 ※印欄 主2 助成申 ②記名押印 1日目 2日目	関うは諸額に代え	支担を表した。	質 ないこと 出方法等 署する 領	事裏面。 ことか 用 A 円 円	でき: 	ます。	額 B 円 円 円	復	摩月	名義	人	済額 	(施術 月分) C	者が言			B-
金融機 ※ 他法 主1 ※印欄 主2 助成申 ②記名押印 ○ 1日目 2日目 3日目 4日目 5日目以降 計	関う自は請代が療養	担 名 人の第一支 を を と と と と と と と と と と と と と と と と と	質 ないこと 出方法等 出方法等 した費 した費 り日常生	現 A 円円円円円の円円円円の下入び	収自□	ます。書	額 B 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円	(診)	摩月	名義	年 領	済額 	(施術 月分) C	者が言			B-
金融機 ※ 他法 主1 ※印欄 主2 助成申 ②記名押印 1日目 2日目 3日目 4日目 5日目以降	関う自は請この「療養」に対して、「療養」に対して、「療養」に対して、「療養」に対しています。	五 担 入 のえて に 要 者でする	質 ないこと 出方法等 出方法等 した費 した費 り日常生	現 A 円円円円円の円円円円の下入び	収自□	ます。書	額 B 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円	(診) 県単一公公	療月 部負 費	担金 分	年 領 事	済額 	(施術 月分) C F F F F F F F F F F F F F	者が言			В-
金融機 ※ 他 印欄申 注2 助 押印 1日目 2日目 3日目 5日目 5日目 5日目 5日目 5日目 5日目 5日 6本 4本 5日 5日 5日 5日 5日 5日 5日 5日	関 名 は請こ 療 障支祉	支 名 祖 入の立て に 要 者でるそ	質 ないこと はお 大法等 は 大法等 は した 費 上 を サード かん (事裏 と	収自□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	ます。書り、担任活を総・	額 B 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円	(診) 県単一公公	療月 部負 費	担金 分	年 領 事	済額 - 	(施術 月分) C F F F F F F F F F F F F F	者が言			B-
金融機 ※ 他 法 主1 ※ p 欄 主2 助成申 ①記名 # # # # # # # # # # # # # # # # # # #	関 負 は請こ 療 障支祉 お	五 担 入のこでにに 事後去・ 県 のここ ままま・ 県 一	質 ないこと は は 大き は ない こと 等 は 力 と で で の 他 の で 負 担 を かん の した の し かん かん かん し かん し かん かん し し し し	事裏面の 用 A 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円	収自□	ます。書り、担任活を総・	額 B 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円	(診) 県単一公公	療月 部負 費	担金 分	年 領 事	済額 - 	(施術 月分) C F F F F F F F F F F F F F	者が言			В-
金融機 ※ 他 印欄申 注2 助 押印 1日目 2日目 3日目 5日目 5日目 5日目 5日目 5日目 5日目 5日 6本 4本 5日 5日 5日 5日 5日 5日 5日 5日	関 名 は請こ 療 障支祉	五 担 入のこでにに 事後去・ 県 のここ ままま・ 県 一	質 ないこと はお 大法等 は 大法等 は した 費 上 を サード かん (事裏面の 用 A 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円	収自□	ます。書り、担任活を総・	額 B 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円	(診) 県単一公公	療月 部負 費	名 義 担金 分 額	年額収	済額 「「「「」 「」 「サ 分	(施術 分) ^厚 ^P	者が言			В-
金融機 ※ 他 印欄申 注2 助 押印 1日目 2日目 3日目 5日目 5日目 5日目 5日目 5日目 5日目 5日 6本 4本 5日 5日 5日 5日 5日 5日 5日 5日	関 負 は請こ 療 障支祉 お	五 担 入のこでにに 事後去・ 県 のここ ままま・ 県 一	質 ないこと は は 大き は ない こと 等 は 力 と で で の 他 の で 負 担 を かん の した の し かん かん かん し かん し かん かん し し し し	事裏面の 用 A 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円	収自□	ます。書り、担任活を総・	額 B 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円	(診) 県単一公公	療月 部負 費	名 義 担金 分 額	年 領 事	済額 「「「「」 「」 「サ 分	(施術分) P P P P P P P P P P P P P P P P P P P	者が言			

(裏)

1 助成申請額の計算方法

対象者の療養に要した費用から保険給付額、他法負担額及び次の一部負担金を控除した額が申請額となります。

<県老の場合>

○ 療養に要した費用の2割(経過措置対象者は1割)

<県障・県親・県子の場合>

- 1日につき 円(同一施術所については月4日までとし、かつその際の自己負担額が 円に満たないときは当該額) ただし、0歳から満18歳に達した日の属する最初の年度末までの期間は、月の初日の
- 2 不明な点は、町の担当窓口へおたずねください。

附 則

(施行期日)

- 1 この規則は、平成31年4月1日から施行する。
 - (経過措置)
- 2 この規則の施行の際現に使用されているこの規則による改正前の 別記様式第6号の2及び別記様式第6号の3は、当分の間、これを 取り繕って使用することができる。